

明星

亀山市立白川小学校だより

第51号

平成30年3月23日 (文責 川合)

～であい ふれあい そして未来へ～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成 11名の卒業生巣立つ

3月20日(火)卒業証書授与式を行いました。11名の卒業生が将来の夢を語り、その理由やそのために自分は何をしていくべきかを発表しました。

また、壁面の絵には将来を思い浮かべた絵がはっており、より臨場感がありました。証書を渡すと、みなさんから一人ひとりに大きな拍手をいただきました。

それだけ、卒業生の堂々とした姿が印象に残った時間でした。

在校生も心を込めて、今までの思い出を力強く語りました。また、みんなで歌った『にじいろ』は、とても音色がきれいでした。

来賓の皆様からは、『感動した』というお言葉をたくさんいただきました。

卒業おめでとう。白川ならではの地域とともに学んできた体験学習やつくしの家との交流学習はこれからの生き方の中で大きな支えとなっていくことでしょう。

また、少人数の中で学んだこと、とくに外国語を学んできたことは、白川っ子タイムで発表した英語劇に見られるようにすばらしいコミュニケーションの力をつけてきたのではと思います。

中学校へ行って、新しい友だちをたくさん作り、一生懸命学んでいってほしいと思います。



炭焼き小屋屋根完成

3月17日（土）土のドームをつくるのに屋根があると土をたたけないので、前の屋根をとりました。そして、もう一度、炭焼き小屋の屋根をつくりました。

卒業式前の19日（月）に火を入れ、釜の土を徐々に乾かす作業に入りました。子どもたちもまきを入れました。しばらく、壁の土の上が白くなるまで乾かします。

煙突は、ふた火力が強くないよう、ふたしてありますが、ふたを開けて煙が出るところを見せてあげると感動していました。



萬寿寺さんへ

3月15日（木）萬寿寺さんへ曼荼羅の絵図を見学に1～3年生が行きました。住職さんから、曼荼羅の寢釈迦さんや地獄・極楽の絵の説明をしていただきました。子どもたちは、興味深く眺めていました。



